

# のぼりべつ

広報

人が輝き まちがときめく ふれあい交流都市 のぼりべつ

2月13日(土)、桜木町の川上公園で「第10回ふるさと冬まつり」(登別市ふるさと広場実行委員会主催)が開催され、多くの家族連れでにぎわいました。長さ30mのジャンボ滑り台や雪像などが並んだ会場では、雪上網引き(写真)やジャンボ豆まきなど、多彩な催しが行われ、子どもたちは冬の一日を思いっきり楽しんでいました。



特集

## 夢が生まれる 明日の街



# 夢が生まれる

## 平成10年度 市内で行われた主な事業

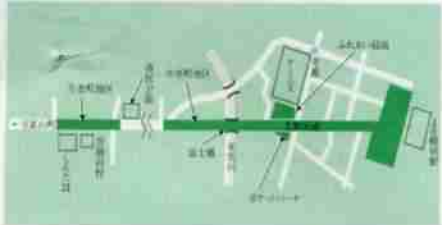
市は、私たちのまち『のぼりべつ』が市民のみなさんに愛され、ともに暮らす喜びを見いだせるまちにするため、さまざまなまちづくりを進めています。

今号では、平成10年度に市内で行われた主な事業の経過をお知らせします。

### 主な事業一覧

- ①北駅前通り街路整備事業（中央町地区・片倉町地区）
- ②中央通り歩道整備
- ③新ごみ処理施設建設事業
- ④大容量防火井戸の新設
- ⑤水槽付き消防ポンプ自動車の購入
- ⑥ロードヒーティング（美園9号線）
- ⑦高規格救急車の購入
- ⑧桜新橋新設（道道上登別室蘭線整備事業）
- ⑨市民会館大ホール大規模改造事業
- ⑩橋りょう新設事業（富岸8号橋）
- ⑪鉄南ふれあいセンターエレベーターと障害者用トイレ設置事業
- ⑫市営陸上競技場トイレ・駐車場整備事業
- ⑬温泉バイパス（道道倶多楽湖公園線）整備事業
- ⑭岡志別の森運動公園
- ⑮公共下水道事業
- ⑯登別温泉配水池の設置
- ⑰道営新川団地の建設
- ⑱円山通り改良事業
- ⑲心の教室整備事業
- ⑳市営桜木団地の建設
- ㉑観光案内標識等整備事業

# 明日の



### ①北駅前通り街路整備事業 （中央町地区・片倉町地区）

北海道が主体となって実施しているこの事業は、中央町地区と片倉町地区で行われています。

中央町地区では、JR幌別駅から富士橋を経て、モンマートかわむら付近までの約440mの区間を整備しています。

平成10年度は店舗の解体や移転改造を継続実施したほか、平成11年10月の完成を予定している富士橋の架け替え工事に着手しました。道路改築は、平成12年3月ごろまでに完成する予定です。

JR幌別駅前広場の整備は、平成12年度から工事を進める予定です。（平成10年度の事業費は約7億3千万円）

片倉町地区では、セブンイレブン登別新川店から総合福祉センター「しんた21」付近までの約900mの区間を整備しています。

平成10年度は道路改良のほか、用地買収や移転補償などを行いました。道路改築は、平成14年3月ごろまでに完成する予定です。（平成10年度の事業費は約3億円）

- ▶中央町地区についての問い合わせ 商店街近代化担当（☎3132）
- ▶片倉町地区についての問い合わせ 管理課（☎3230）

# 街



# 夢が生まれる 明日の街

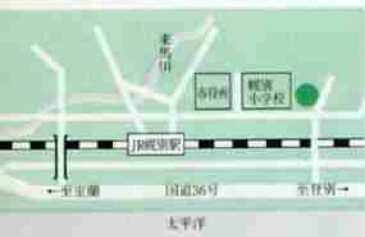
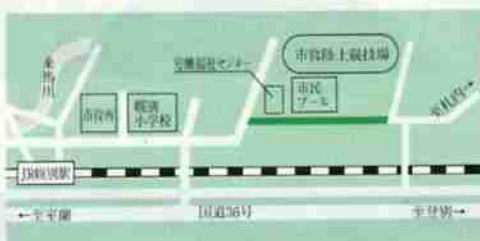
平成10年度 事業紹介



## ②中央通り歩道整備

千歳町3丁目の労働福祉センター前から市民プール横の歩道約250mを、1.5mから2.5mに拡幅する工事を行い、昨年10月末に完成しました。(事業費は約2千500万円)

▶問い合わせ 土木課 (☎3260)



## ④大容量防火井戸の新設

今月末、幌別小学校のプール横に「大容量防火井戸」が完成します。

鶯別支署敷地内と富岸青少年会館付近の設置に続き、市内で3カ所目となるこの防火井戸は、約100tの地下水を常時ためておくことができ、断水時の消防用水や非常用生活用水を確保します。(事業費は約1千991万円)

▶問い合わせ  
消防本部 (☎9611)



## ⑤水槽付き消防ポンプ自動車の購入

災害時の水源確保用として、大型の水槽を備えた消防ポンプ自動車を購入しました。

この消防ポンプ自動車は、老朽化した消防ポンプ自動車に代わり購入したもので、昨年12月末、鶯別支署に配備しました。(事業費は約5千76万円)

▶問い合わせ  
消防本部 (☎9611)



## ③新ごみ処理施設建設事業

施設の老朽化などが著しい清掃工場(焼却処理施設)と平成11年度で埋め立てが完了となる千歳最終処分場に代わる新たなごみ処理施設(中間処理施設・最終処分場)の建設を平成9年から進めています。

現在、平成12年4月の稼働に向け、焼却処理施設やリサイクルプラザの建設工事を行うとともに、最終処分場やこれに付帯する浸出水処理施設の建設工事、最終処分場への搬入道路の造成工事などを進めています。(全体の事業費は3カ年で約90億円)

▶問い合わせ 新施設整備課 (☎3009)



### ⑥ロードヒーティング (美園9号線)



坂のこう配がきつい美園町6丁目の美園9号線70mに、市内で4カ所目のロードヒーティング工事を行い、昨年12月末に完成しました。

▶問い合わせ  
土木課 (☎3260)

夢が生まれる  
明日の街

平成10年度 事業紹介



### ⑨市民会館大ホール大規模改造事業

市民会館大ホールの客席を舞台の見やすい傾斜式とするため、床を改造します。客席数は、床の傾斜に伴う客席スペースなどの確保や機械室と母子室の設置のため、現在の967席から715席に変更となります。また、一部客席内には、車いすを利用する方のスペースも設けます。完成は4月末を予定しています。工事期間中は大ホールを利用できませんので、ご理解とご協力をお願いします。(事業費は約1億5千万円)

▶問い合わせ 社会教育課 (☎1100)



### ⑦高規格救急車の購入

本署(登別市消防署・中央町)に配備している1台に続き、2台目の高規格救急車を購入しました。高度救命処置用資機材を装備したこの高規格救急車は、鶯別支署の老朽化した救急車に代わり購入したもので、2月末に鶯別支署に配備しました。(事業費は約3千902万円)

▶問い合わせ  
消防本部 (☎9611)



### ⑧桜新橋新設 (道道上登別室蘭線整備事業)

幌別川に架かる小平岸橋の約100m下流に、桜木町と新川町を結ぶ「桜新橋」(幅16m、長さ93.4m)が、昨年12月末に完成しました。

※この事業は北海道の事業です。

▶問い合わせ 管理課 (☎3230)





夢が生まれる  
明日の街

平成10年度 事業紹介



⑩橋りょう新設事業(富岸8号橋)

亀田記念公園入り口近くの富岸町2丁目と新生町4丁目の間を流れる西富岸川に、新しく橋を架けます。完成は、3月末を予定しています。(事業費は約8千700万円)

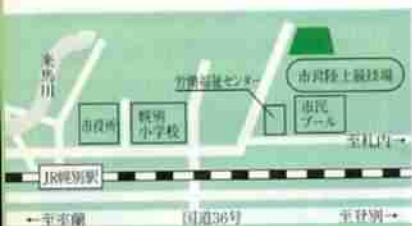
▶問い合わせ 土木課(☎3260)



⑫市営陸上競技場トイレ・駐車場整備事業

市営陸上競技場の老朽化したトイレの建て替えや陸上競技場を利用する方のための駐車場舗装工事を行い、完成は3月下旬を予定しています。(事業費は約3千610万円)

▶問い合わせ  
社会教育課(☎1100)



⑪鉄南ふれあいセンターエレベーターと障害者用トイレ設置事業

「人にやさしいまちづくり事業」の一つとして、障害をもつ方や高齢者が利用しやすい公共施設にするため、市役所本庁舎と市民会館のエレベーター設置に続き、鉄南ふれあいセンターにエレベーターと障害者用トイレを設置します。完成は、3月末を予定しています。(事業費は約7千500万円)

▶問い合わせ 社会福祉課(☎1911)



⑬温泉バイパス(道道倶多楽湖公園線)整備事業

温泉バイパスは、登別温泉市街地を避け、登別厚生年金病院付近からクスリサンベツ川沿いに建設される新ルートで、延長820mが事業化されています。完成時は、幅員10mの車道部と3.5mの歩道となり、全体計画では地獄谷駐車場近くの道道に接続させる予定です。

平成10年度は、用地買収と移転補償を行い、青嵐荘付近の工事を行っています。

※この事業は北海道の事業です。

▶問い合わせ 管理課(☎3230)



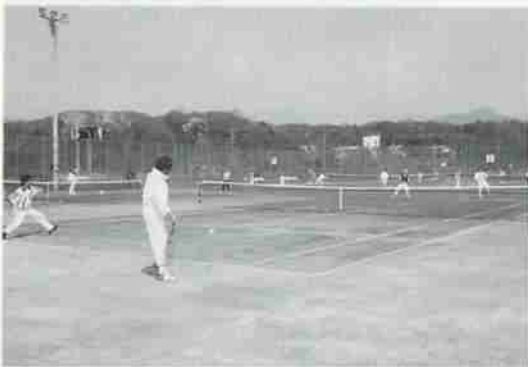


⑭岡志別の森運動公園

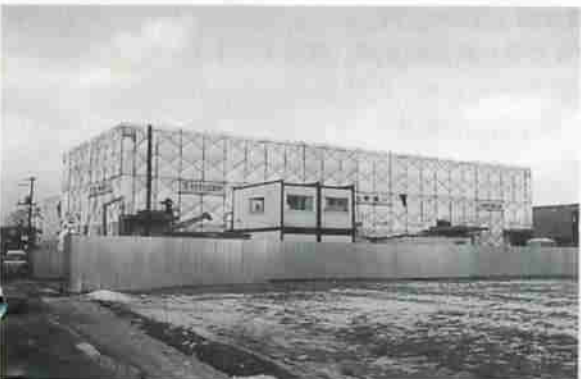
平成10年9月末、岡志別の森運動公園(約7ヘクタール・千歳町)のパークゴルフ場が完成しました。

このパークゴルフ場の完成により、平成8年から建設を進めてきた同公園は、野球場(両翼100メートル、センター120メートル)、テニスコート(6面のうち2面に照明設備)、パークゴルフ場(18ホール)、ジョギングコース(1キロメートル)を備えた運動公園として全面完成しました。(事業費は平成8・9年度の2カ年で約4億3千万円)

▶問い合わせ 社会教育課 (☎881100)



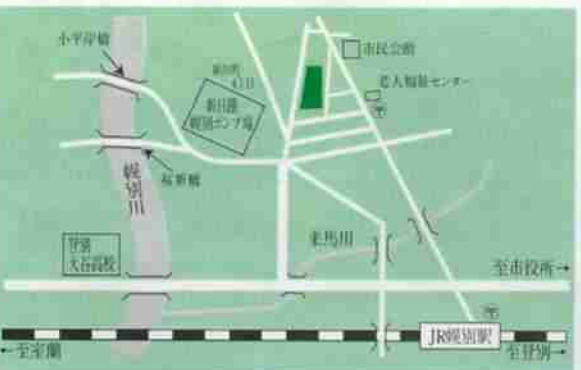
⑰道営新川団地の建設



平成10年9月に完成した新川町4丁目の道営新川団地は、3階建て18戸・1棟で、現在18世帯が入居しています。平成10年度以降も建設が行われ、全体で3棟52戸を予定しています。(平成9・10年度の工事費は約3億7千万円)

※この事業は北海道の事業です。

▶問い合わせ 建築課 (☎884399)



▲若山浄化センター

⑮公共下水道事業

平成10年度は、千歳町、中央町、片倉町、富岸町、新生町、若草町のそれぞれ一部が供用開始となり、平成10年度末の普及率は約50%に達する予定です。

▶問い合わせ 下水道課 (☎889052)

⑯登別温泉配水池の設置

登別温泉町や上登別町などを主な給水地区とした「登別温泉配水池」を設置し、平成10年8月から供用を開始しました。約1千500トンの貯水ができるこの配水池は、近年、水の需要量が大幅にのびている同給水地区へ安定した給水を行うほか、火災・災害などへ緊急対応するため設置しました。(事業費は約3億8千万円)

▶問い合わせ 工務課 (☎885510)





夢が生まれる  
明日の街

平成10年度 事業紹介



⑱円山通り改良事業

登別本町2丁目地内の歩道の舗装や植栽(150mの区間)、用地買収、移転補償などを行っています。(事業費は約1億2千750万円)

▶問い合わせ 都市計画課 (☎☎4115)



⑳観光案内標識等整備事業



観光や自然探勝などで登別温泉を訪れる方のために遊歩道の案内板や野鳥・樹木などの自然解説板などを、16カ所に設置しました。(事業費は約1千218万円)

▶問い合わせ 観光室 (☎☎2018)



㉑心の教室整備事業

生徒の悩みや不安などの相談に応じるため、幌別中学校や緑陽中学校の余裕教室や保健室などを改修した『心の教室』を設置し、カウンセラーなどによる相談を開始しました。(事業費は約2千110万円)

▶問い合わせ 学校教育課 (☎☎1100)



㉒市営桜木団地の建設

平成10年10月に完成した桜木町4丁目の市営桜木団地は、5階建て40戸・1棟で、現在40世帯が入居しています。平成14年度までに全体で3棟130戸を予定しています。(平成9・10年度の工事費は約9億3千万円)

▶問い合わせ 建築課 (☎☎4399)





## 寒さもなんの！豪快に『湯かけ』

2月3日(水)と4日(木)の2日間、「第28回登別温泉湯まつり」が登別温泉街などで開かれました。

温泉の効能に感謝し、一年の開運と無病息災を祈願するこの祭りでは、閻魔大王の使者である赤鬼・青鬼の「湯鬼神」が温泉街を練り歩き、「湯鬼神神楽」や「厄払い豆まき」などの催しが披露されました。

祭りの呼び物は、4日に行われた「源泉湯かけ合戦」。下帯姿の若者約60人が豪快に湯を掛け合うと、辺り一面にはもうもうと湯気が立ち込め、見物客は厳寒の中で繰り広げられる熱闘に歓声を上げていました。



## 友好と親善の歌声が響く

2月14日(日)、市民会館で、「さわらび合唱団コンサート」が開かれました。同合唱団は、札幌出身の平中弓弦さんが、1994年にデンマーク国教会のオルガン奏者に就任した際に創立され、教会の聖歌隊として活動しているほか、精力的にコンサートを開いています。

今回のコンサートは、登別デンマーク協会の招致により実現したもので、この日は、デンマークの伝統音楽のほか、「浜辺の歌」「花の街」など日本の歌も披露され、場内に響く美しい歌声が、約350人の聴衆を魅了しました。（『さわらび』とは、芽が出たばかりのわらびのこと）

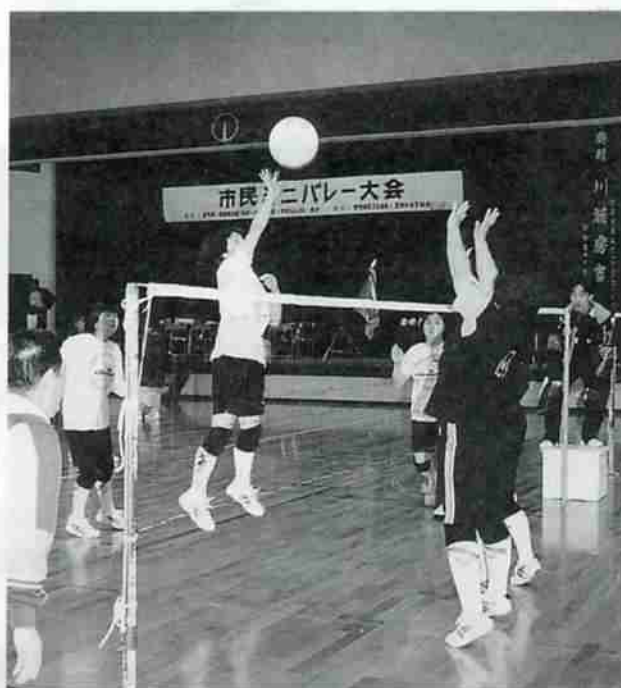


## チームワークが勝利へのカギ

1月24日(日)、総合体育館で「第16回市民ミニバレー大会」が開催され、男子10チーム、女子31チームの合わせて約200人が参加しました。

試合は、1セット11点3セットマッチの公式ルールを採用し、男子3ブロック、女子10ブロックに分かれて予選リーグを行った後、上位2チームが午後からの決勝トーナメントに進出。

観客席からの声援を受けながら、選手たちは日ごろの練習の成果を余すところなく発揮し、白熱した戦いを繰り広げていました。



## こんな図書館があるといいな

登別市新図書館構想21人委員会は、登別市総合計画（平成8年策定）に盛り込まれた「図書館の新設検討」を受け、今後策定する新図書館建設基本構想に市民の声を盛り込んでいこうと昨年7月1日に設立された市民組織。一般公募で選ばれ、市教育委員会から委嘱を受けた21人を委員とする同会は、自費による先進市立図書館の訪問や講演会を開催したほか、会内での意見交換を十分に行い、図書館サービスの在り方や建物の概要などについて報告書にまとめ、今年9月ころ市教育委員会に提出する予定です。





## 熱気あふれる『かるた大会』

1月31日(日)、市民会館中ホールで、登別市子ども会育成連絡協議会(川島芳治会長)主催による『第16回登子連かるた(百人一首)大会』が開催されました。

大会には、市内の小中学生70人が参加し、小学生の部10チーム、中学生の部4チームによるリーグ戦が行われ、子どもたちは、読み手の下の句を聞き逃すまいと真剣な表情で札を見つめていました。

子どもたちの中には、小学4年生の時から6年連続で参加している『つわもの』もいて、会場には、子どもたちの熱気があふれていました。



## 寒さなんか吹き飛ばせ

2月7日(日)、桜木町の青葉多目的広場で『第12回青葉スケートリンク祭り』が開催されました。

祭りの会場となった青葉スケートリンクは、市内唯一のスケートリンクで、地域住民で組織する青葉スケートリンク実行委員会会員による手作りリンク。祭りに参加した青葉小学校の子どもたちや父母、町内会員ら約500人は、1周約200mのリンク内でスピードを競うスピード競技やミカン拾い、親子カーリングなど、氷上での競技を楽しみ、父母らの手作り雑煮に舌鼓を打っていました。



## 『広報のぼりべつ』が入選!

広報紙や広報写真の技術向上を図るため、(社)北海道広報協会が行っている『第45回北海道広報コンクール』の「広報紙 都市の部」で、『広報のぼりべつ』が平成2年以來8年ぶりの入選を果たしました。

入選作品は、ウォーキングや健康をテーマにした特集『小さな小さな冒険旅行へ出かけよう』を掲載した平成10年10月1日号。昨年度は、同コンクールの「広報写真 一枚写真の部」で入選を果たし、本年度は広報紙の文章、企画、レイアウト、写真などが総合的に審査される「広報紙の部」で入選となりました。





# 市民リポーター

## 安全に安心して暮らせる生活を

登録消費者協会の活動について



▲登録消費者協会は、労働福祉センター内にあります  
(千歳町3-1-8 ☎8307)



▲登録消費者協会の会員になると毎月、消費生活情報が掲載されている広報紙「北のくらし」(北海道消費者協会発行)が送られます

私たちの身の回りにはさまざまな食品や商品が氾濫し、私たちは何を選び、何を購入したらよいのかその判断に迷ってしまいます。

また、ダイオキシンの代表される環境ホルモンや農薬、食品添加物による人体への影響など、私たち消費者の生活を取り巻く状況は年々深刻さを増しています。

このような中で、消費生活全般について広範囲に学習するほか、消費生活情報を発信し続けている団体が登録市内にあります。

今回は、市内の消費生活をリードする「登録消費者協会」がどのような活動をしている団体なのか、同協会をリポートしました。

### 登録消費者協会って何をしているところ？

「登録消費者協会」。名称を聞いただけでは何をしている団体がよく分からない方も多いのではないのでしょうか。そこで、登録消費者協会設立のいきさつなどを、設立当時からかかわっている遠藤喜美子会長に聞いてみました。

「私たちの生活は衣・食・住の大きく三つに分けることができますが、日常、口にしたり接することの多い食品

添加物や洗剤などについて、もつと自分たちが勉強しなければどの熱い思いで、昭和50年5月に結成しました。現在の会員数は約240人。年代的には50代から70代の方が多く、設立当時から活動をしている方が何人もいらっしゃいます。これからは、若い方にもどんどん入会していただき、毎日の生活に協会で得た知識を生かしてほしいですね」と遠藤会長。

### 消費者協会は、さまざまな活動を続けています

同会では現在、テーマを決めての学習会や消費生活相談、購入した商品の重量が合っているかどうかを調べる試買目調査のほか、灯油の共同購入などの促進活動や、全市的に参加を呼び掛け年一回開催する消費者大会・消費生活展などさまざまな活動を行っています。

昨年の9月26日と27日には、中央町



▲若い方たちの入会をお待ちしますと話す遠藤会長



市民リポーター  
かきうちと きこ  
垣内登紀子 さん  
(緑町・50歳)

のショッピングセンター・アーニスとホテル平安を会場に、地球規模で環境を考える「いぶり環境フェスティバル in 登別」を同協会と胆振支庁、登別市で共催しました。

フェスティバルでは、環境問題に取り組んでいる団体や企業20数社の紹介と環境に配慮した商品の紹介のほか、消費生活に役立つ情報などを紹介した消費生活展を行いました。

「環境をテーマにしたパネル展や体験演を行った消費生活展で、私たちを取り巻く現状と今後快適な環境を維持するにはどうしたらよいかを、来場者一人ひとりに説明させていただきました。来場されたみなさんは、熱心にパネルなどを見て学習されていました。今年も開催してくださいとの要望を受け、アーニスを会場に開催する予定です。そのときはぜひ足を運んでください」と遠藤会長は話していました。

「年に2回実施しているフリーマーケットもすっかり定着し、出店されている方やお客さまもフリーマーケットの開催を楽しみにしていると聞いています。私たちの活動は、難しいことばかりをしているのではと思われがちですが、身近なところではミルク・クッ





▲昨年9月26日～27日にアーニスで行われた「いぶり環境フェスティバル」の体験コーナーで手芸を指導する会員



▲昨年9月26日にアーニスの駐車場を利用して行われたフリーマーケットは、大勢の市民でにぎわいました



消費生活相談講座

必要ありません。  
お断りします。

▲1月27日～28日、日本工学院北海道専門学校を学生を対象に行われた「消費生活相談講座」。講師は、登別消費者協会事務局長の掛端朱子さん

消費生活相談は労働福祉センター内の登別消費者協会を受けています

消費者協会の大切な活動の一つに、

キングや手作りみその講習会、牛乳パックを利用しての紙すきも行ってのほか、有機米や豆、いもなどの産地直送も行っていきます。また、他市町の消費者協会と交流する1泊研修旅行では、毎年、会員のみなさんが童心に戻って大いに楽しんでいきます」と同会事務局長の長谷部幸子さん。

「会員の方には、商品のテスト結果や消費生活相談に寄せられた相談内容を業者名入りで公表している北海道消費者協会の広報紙「北のくらし」（毎月1回発行）を配布していますので、仕事などで行事に参加できない方も、ぜひ登別消費者協会に入会していただきたいと思います。登別消費者協会では、『登別消協だより』を隔月で発行するとともに、年に一度「広報のほりべつ」に折り込んで全戸配布していますが、『登別消協だより』を見た市民の方から相談があったり、市内の灯油の最安値店の問い合わせなどがあつたりすると、活動をする上でとても励みになります」と長谷部さんは話してくれました。



▲登別消費者協会事務局長の長谷部さんに話を聞きました



▲一人で悩まずに相談してくださいと話す丸山さん

消費生活相談があります。最近どのような相談が多いのか、昨年10月から同協会内で市の消費生活相談員として勤務している丸山優子さんに話を聞きました。

「布団を格安でクリーニングしますとか、この布団にはダニがいるので下取りをするなどと言葉巧みに高額（およそ30～40万円）な布団を無理やり買わされてしまい、どうしたらよいものかという相談や、学習教材を何年も先まで長期にわたって契約してしまつたが、子どもが使わないので困つてしまつたという相談、また、職場や自宅に電話を掛けてきて資格を取ると仕事をあつせんと言われたが実際はあつせんしてもらえなかつたという相談などが寄せられています。勧誘を断るときには、はっきりと『必要ありません』『いりません』と断ってください。『結構です』『いいです』などのあいまいな言葉によって契約と見なされることもあります。いずれにしても契約はその内容を確認し、十分に検討してからでも遅くありません。自己の責任で慎重に契約をしてほしいと思います。しかし、どうしても断りきれなかつたり、後で必要ないと思つたときは、クリー

ングオフ（※）といつて解約できる方法がありますので、一人で悩まず早めに登別消費者協会（☎8307）へご相談ください。私たちと一緒に解決しましょう」と丸山さんは話してくれました。

**確かな情報を得て、そして学んで自己防衛を**

年々、生活様式や考え方が多様化する現代社会。その中で増え続ける巧妙で深刻化している消費にまつわる被害。遠藤会長は、「一人では解決できなかったり、よく分からないことは、みんなが問題意識をきちんと持ち、確かな情報を得て学び、自己防衛していかなければならないと思います。市民全員が消費者協会に入会されて一緒に活動していくことが私たちの夢であり、理想だと思つています。出前講座も行いますのでグループや町内会、友人同士など、どなたでも結構ですので、気軽に利用していただきたいと思います」と語っていました。

すべての人々は消費者。私たち消費者一人ひとりが、自ら知り、学び、安全であることを確かめようと心掛けることで、真に豊かな生活が送れるのは、という感を今回のレポートで私は強く持ちました。

※訪問販売などでの契約について、8日間以内なら違約金なしに無条件で解約できるという消費者保護のための制度。書面に よる申し入れが必要。





### かわむらえつこ 川村英津子さん

昭和28年5月生まれ、45歳。  
登別市ファミリーサポートセンター  
のアドバイザー。子育ての援助を受け  
たい方と援助のできる方との調整  
役として活躍中。

助の内容は、  
ファミリーサポー  
トセンターで行う援  
助の内容は、  
ファミリーサポー  
トセンターで行う援  
助の内容は、

「登別市ファミリーサポートセン  
ター」は、少子化が著しい今日、働  
きながらも安心して子どもを生  
み、健やかに育てることができ  
る環境づくりを市民と行政が一体となっ  
て進めるため、平成8年8月に設立  
されました。

ファミリーサポートセンターの運  
営は、福祉ボランティアの育成・活  
動支援やお年寄りを地域ぐるみで支  
援する小地域ネットワークの構築な  
ど、幅広い活動を行っている「登別  
市社会福祉協議会」が、デイサービ  
スセンターと同様に市の委託を受け  
て行っています。



## ひだまり

登別市ファミリーサポートセンター  
片倉町6丁目9-1 (総合福祉センター  
「しんた21」内 ☎0033)

人が輝き まちがときめく



## 自然豊かな幌別川を 次の世代へ引き継ぐのが 私たちの役目

# 仲間たち Group

## 幌別川を育てる会

「幌別川をサクラマスなどの魚が  
自然産卵できるようにな川にしたい。  
幌別川を育てる会は、この趣旨に賛  
同する人たちが集まり、平成5年2  
月に発足しました」と同会発足当時  
から会長を務める河上清一さん。

会員は、小学生からお年寄りまで  
総勢203人を数え、中には家族全員で  
入会している方もいます。

「鉦山町の奥深くを源流とする幌  
別川は、幌別地区をとうとうと流れ  
ています。しかし、幌別ダムが川の  
途中にあるため、魚が遡上して産卵  
したり、海に下ったりすることがで  
きません。そこで当会では、この幌  
別ダムを海に見立て、自然産卵でき  
るような環境を整えようと、魚や水  
生昆虫などの生育調査や魚の乱獲防  
止につながる「キヤッチアンドリ  
リース（釣り上げた魚を再び川に戻  
す）」などの活動を、会発足当時か  
ら行っています」と話す河上さん。



同会では、幌別ダム上流にある砂  
防ダムを越えて魚が行き来し、産卵  
できるようにと、魚道の整備を関係  
機関に働きかけているほか、魚道整  
備資金の一部に充てるため、募金活  
動を計画しているそうです。

また、美しい川を未来に残すため、  
川の清掃を毎年行っているほか、こ  
みの持ち帰り運動や不法投棄の防止  
運動、毎年4月から5月までの禁漁  
期間を徹底してもらうための運動な  
ど、地道な活動を続けています。

「森と人の住むまちと海を結び、  
生き物の生活と安らぎの場である川  
を、これからも守り育てていかなけ  
ればなりません。そして、自然豊か  
な幌別川を次の世代に引き継ぐため  
にも、途切れることなく活動を続け  
ていきたいですね」と力強く話す河  
上さん。

入会を希望する方は、中川さん  
(☎5861)までどうぞ。



## ちよつと ひとこと

楽しかったこと、悲しかったこと、うれしかったこと、市への疑問や意見・要望などを企画広報室へ電話やはがき、封書、ファクスでお寄せください。紙面上では匿名でも氏名、住所、電話番号をお知らせください。なお、個人や団体への中傷や営利を目的としたお話はご遠慮ください。

企画広報室 中央町6-11  
☎1122 FAX1108

### 献血の大切さを痛感

私の父は、昨年、突然体調を崩し、手術を受けました。

手術では、大量の輸血を必要としましたが、関係者の献身的な対応により、今ではすっかり元気を取り戻すことができました。

今回の体験で、手術などに使われる輸血用の血液は、全て献血で賄われていることを知りました。普段、大型店などで献血が行われていても、関心がなかったのですが、改めて献血の大切さを痛感しました。これからは、私も献血に努め、少しでもお役に立ちたいと思っています。父の手術が成功したお礼を込めて…。

(若山町 主婦)

### 地域振興券の有効活用を

私は年金生活者ですが、このたび、65歳以上の非課税者などに地域振興券が配布されるとのことで、とても楽しみにしています。

今回の地域振興券は、地域の経済対策として行われると聞いており、市内のいろいろな店で使うことができれば大変便利で、市内経済の活性化につながると思います。

いずれにしてもこの地域振興券には、多額の税金が使われるので、有効に活用したいと思っています。(登別本町 一市民)

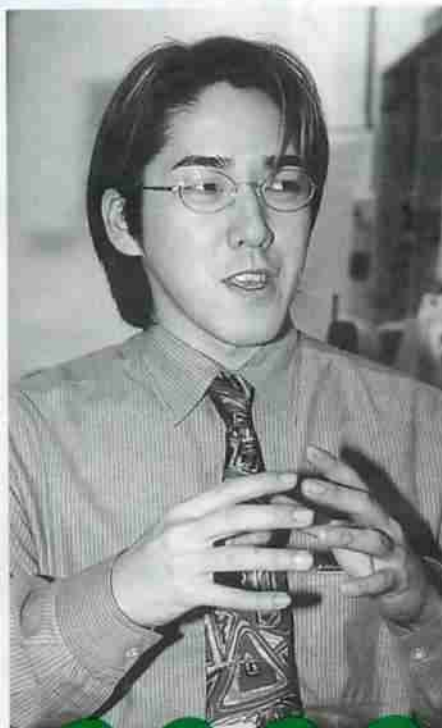
◎保育所・幼稚園まで、子どもの送迎を行う。  
◎保育所・幼稚園から帰宅後、子どもを預かる。  
◎学校の放課後、子どもを預かる。  
◎子どもが軽度の病気になるたとき、臨時的に終日子どもを預かる。  
◎依頼会員が病気や急用のとき、子どもを預かる。  
などのほか、子育てをしている親の要望に応じて、さまざまな援助を行っています。

「ファミリーサポートセンターのスタッフは、チーフアドバイザー1人、アドバイザー2人の計3人です。ほかにも、7人のサブリーダーがそれぞれの地区で、きめ細かい活動をしています。私たちアドバイザーは、依頼会員から援助の申し込みを受けた場合、直ちにお伺いして援助の内容をお聞きし、提供会員をお願いしています。子どもを預けるお母さんの不安をいかに取り除いてあげるか、ということに細心の注意を払っ

新たな子育て支援方法として注目されているファミリーサポートセンター



ています。また、提供会員は、子育ての経験をしている方ばかりですのて安心して依頼できますが、提供会員に無理のかけられないよう配慮しながら進めています。これからは、子育て中のお母さんが、安心して働くことができるようお手伝いしていきます」と語る川村さんは、21世紀を見つめた子育て支援を行っています。



あすなろ

みぞぶちひでとし  
清瀬秀敏さん(30歳)

カットサロンブッチ経営

父と二人三脚で、これからも同じ道を行きたい

「お客さまのご希望に少しでも沿えるよう、中高年の方を父が、学生から30代までの方を私がカットしています。これからは二人三脚で、父を支えていきたいですね」と話す理容師12年目の清瀬さん。

札幌市内の理容店で6年間の勤務を経た後、登別市内で理容店を営む父親を助けようと、平成7年に里帰り。現在は父と母と3人で力を合わせ、店の経営にあたっています。

「毎月、同年代の同業者が集まって勉強会を開き、互いの技術を磨き合っています。将来は店をもっと大きくして、より多くのお客さまのカットをさせていただくことが目標です」と語る清瀬さんの腕が21世紀を切り開いていきます。





特別企画  
広聴活動特集  
平成10年度

# 一人ひとりの希望のまち

▶ 広聴活動に関する問い合わせ  
企画広報室 (☎851122)

市民と行政が対話を重ね、共通の目的意識を持ち、協働して一人ひとりの思いや希望が実現できるまちをつくる。

それが「まちづくり」の目的であり、私たちが心に描く「のぼりべつ」の将来像ではないでしょうか。

「まちづくり」は、市の考えだけで実現できるものではなく、また、一部の人の発言のみで進めることはできません。一人ひとりの思いや希望を集約し、実現させるための最良の手段を選択しなければなりません。

市が行っている広聴活動とは、その思いや希望を集約し、市政に反映させるための活動で、さまざまな手法や機

会を設けて行っています。みなさんの思いや希望を「まちづくり」に反映させてみませんか。

## 市の主な広聴活動

### 【市政懇談会】



#### ◎制度

市長をはじめとする市幹部職員が出席し、連合町内会などから提出されたテーマを基に意見交換などを行います。

#### ◎取り組み状況

今年度は、連合町内会から提出された5テーマについて、昨年11月25日、約130人の町内会関係者との意見交換が行われました。

- ①ごみの有料化と広域処理
- ②公共施設整備の進め方
- ③市内の公立高校の将来像
- ④市内の空き店舗
- ⑤住宅対策

### 【地区懇談会】

#### ◎制度

地区連合町内会から提出されたテーマを基に、市の部長職が出向いてごまばらんに意見交換や情報提供などを行います。

#### ◎取り組み状況

今年度は、市内8地区の地区連合町

内会から提出された「ごみの不法投棄防止」「防災対策」など、26項目のテーマについて、昨年8月18日から9月2日にかけて懇談を行いました。

### 【地区課題】

#### ◎制度

各町内会の身近な課題や要望を提出していただき、町内会の代表者と市の課長職や係長職がヒアリングを行い、後日回答する制度です。

#### ◎取り組み状況

今年度は、43町内会から市道の補修・舗装、排水関係91件、交通安全関係17件、集会場・老人憩の家関係15件など、合計180件の要望などが提出され、昨年6月1日から3日にかけてヒアリングを行った後、各町内会に回答しました。

### 【ふれあい懇談会】

#### ◎制度

地域で活躍する各種団体などと市長が、まちづくりなどについてひざを交えて懇談します。

#### ◎取り組み状況

今年度は、登別建設協会、登別消費者協会と懇談会を行いました。

建設協会とは「地域経済の活性化と公共事業」をテーマに懇談しました。

また、消費者協会とは、同協会が取り組んでいる「再生品の利用」をテーマに、身近なリサイクルの在り方などについて意



見交換を行いました。

### 【市長室フリータイム】

#### ◎制度

市民が市長とじかにまちづくりなどについて自由に語り合える制度です。

#### ◎取り組み状況

今年度は3回開催し、「踏切の拡幅と市道の整備」「固定資産税にかかる資産評価の在り方」などについて話し合いました。

### 【市職員出前フリートーク】

#### ◎制度

今年度から新たに設けられた制度で、少人数(3~20人程度)のグループを対象に、市の課長職や係長職が出向いて市政に関する情報提供や意見交換などを随時行います。

#### ◎取り組み状況

老人クラブや町内会、婦人団体などの7グループと、「介護保険制度」「生活排水と公共下水道」「情報公開制度」などについて情報提供や意見交換を行いました。



## 子どもたちの自主的な練習には感心しています

「昨年12月の定期演奏会を最後に6年生が抜けた今は、3年生から5年生まで31人が精力的に練習しています。特に、3年生は初めて触るトランペットやトロンボーンなどの金管楽器に慣れるため、ドレミなどの基本を中心に毎日練習しています」と話す窪田さん。

中学校、高校、大学のブラスバンド部でトロンボーン奏者として活躍していた経験を生かし、窪田さんは子どもたちの指導にあたっています。

「最初のうちは、音を出すのもようやくという子どもたちも、数カ月もすると安定した音程で演奏できるようになります。上達は、驚くほど早いです。朝の練習や休み時間を利用した自主的な練習には本当に感心しています」。

オニッコマーチングバンドが1年間に行う演奏は、4月の入学式に始まって、5月の運動会、6月の老人大学交流会、8月の地獄まつりパレード、12月の定期演奏会など月1回の割合で行っています。「昨年12月の定期演奏会では、私が作詞作曲した『おきさきさまはビスケット』という音楽童話を子どもたち全員で父母らに披露したほか、1年間練習を積み重ねてマスターした曲も披露できました。父母から盛大な拍手をいただきました」。



▲登別地獄まつりで練習の成果を披露

「オニッコマーチングバンドのレパートリーは、聖者の行進や映画『ロッキー』のテーマなど約20曲ありますが、これからも作曲や編曲を行って、ほかのところになり登別温泉小学校独自のカラーを出していければと考えています。先輩たちが築いてきた『オニッコマーチングバンド』という伝統の灯を消すことなく、これからも子どもたちとともに努力していきたいと思えます」と明るく慈愛に満ちた笑顔で語る窪田さんは、優しさで厳しさを織り交ぜながら子どもたちを指導しています。

「オニッコマーチングバンドのレパートリーは、聖者の行進や映画『ロッキー』のテーマなど約20曲ありますが、これからも作曲や編曲を行って、ほかのところになり登別温泉小学校独自のカラーを出していければと考えています。先輩たちが築いてきた『オニッコマーチングバンド』という伝統の灯を消すことなく、これからも子どもたちとともに努力していきたいと思えます」と明るく慈愛に満ちた笑顔で語る窪田さんは、優しさで厳しさを織り交ぜながら子どもたちを指導しています。



昭和36年5月生まれ。36歳。旭川出身。

平成4年4月から登別温泉小学校勤務。オニッコマーチングバンドの指導は前任者から引き継いで2年目。校長をはじめ、他の教諭の協力も得て、バンドの指導にあたっている。

# きらり

KIRARI

くぼたじゅんじ

窪田潤司さん(中央)

登別温泉の『鬼』にちなんだブラスバンド『オニッコマーチングバンド』が登別温泉小学校に結成されてから11年目。

同校で演奏のための作曲を自ら行うとともに、子どもたちの演奏指導を精力的に行い、培ってきた伝統をこれからも長く引き継いでいこうとしている窪田教諭に話を聞きました。

ブラスバンドで  
子どもたちに音楽の  
楽しさを伝えたい



登別市嘱託員を

募集します

市は、幌別小学校言語治療教室の言語治療技術員を募集します。

▼職種 言語治療技術員

▼募集人数 1人

▼雇用期間 平成11年4月上旬～平成12年3月31日

▼勤務時間 8時25分～16時10分(月～木曜日)、8時25分～12時25分(金曜日)

▼給料(月額) 13万600円

▼試験月日 3月13日(日)

▼試験方法 面接試験、適性試験

▼受験資格 昭和16年4月2日以降に生まれた方で、小学校教

諭免許、幼稚園教諭免許、保母資格のいずれかを有し、原則として3年以上の実務経験を有する方

▼申込方法 職員課と各支所に備え付けの申込書に必要事項を記入し、3月8日(月)までに職員課に持参してください

▼問い合わせ 職員課

(☎1132)

奨学生を募集します

(財)登別育英会は、高校、高専、専門学校、短大、大学に4月から入学する方を対象に、平成11年度の奨学生を募集します。

▼奨学金(月額)

◎高校生…1万円

◎高専・専門学校・短大生…1万5千円

◎大学生…2万円

▼申し込み・問い合わせ 3月31日

日(水)までに(財)登別育英会(市民会館内 ☎1100)

下水道排水設備工事指定店の

指定申請を受け付けます

市は、下水道排水設備工事指定店の新規指定の申請を受け付けます。

▼指定要件

◎登別市に登録している責任技術者が1人以上専属していること

◎工事の施工に必要な設備と器材を有していること

◎北海道内に営業所があること

◎工業業者(法人の場合代表者)が禁治産者や準禁治産者または破産者でないことなど

※詳しい指定要件についてはお問い合わせください。

▼受付期間 3月1日(月)～3月31日(水)(土・日曜日、祝日を除く)

▼申し込み・問い合わせ 下水道課(☎9052)

無料で  
お貸し  
します

広報ビデオ  
『'98秋』が完成

市は、平成9年から、市内で行われたさまざまなイベントや市の事業などを収録した広報ビデオを季節ごとに制作しています。

このほど、平成10年9月から11月にかけて行われたイベントなどを約15分で紹介した『ときめきのまのほりべつ'98秋』が完成しました。

さわやかな秋空の下で、大地を駆け抜ける子どもたちの笑顔など、生き生きとした表情を見てみませんか。

なお、このほかに、97年の登別の四季を映像で振り返る『'97四季』や『'98春』『'98夏』、しんた21で行われているお年寄りのデイサービスを紹介した『登別市のデイサービス』のビデオテープも無料で貸し出ししていますので、気軽にご利用ください。

『'98秋』の収録内容(約15分)

- ◆登別漁港まつり◆大地の祭典、北海道クロスカントリーレース◆ふるさと生涯学習10周年記念フェスティバル◆新ごみ処理施設建設◆登婦連かあちゃんオリンピック◆地引き網体験◆岡志別の森運動公園パークゴルフ場オープン◆市営住宅「桜木団地6号棟」完成◆ふれあい農園「稲刈り」

問い合わせ

企画広報室  
(☎1122)

(財)登別市文化・スポーツ振興財団職員募集

▶雇用期間

◎市民会館業務員・鶯別公民館業務補助員…平成11年4月1日～平成12年3月31日

◎岡志別の森運動公園業務補助員…平成11年5月1日～平成11年10月31日

(以後は勤務成績により再雇用する場合があります)

▶試験方法 面接試験(日時など詳しくは後日ご連絡します)

▶申込方法 (財)登別市文化・スポーツ振興財団(市民会館2階)に備え付けの申請書に必要事項を記入(写真添付)し、3月12日(金)までにお申し込みください

※なお、市民会館業務員と鶯別公民館業務補助員(男性のみ)については、室蘭公共職業安定所の紹介状を添えてお申し込みください。

▶申し込み・問い合わせ (財)登別市文化・スポーツ振興財団(土・日曜日を除く ☎1116)

職種	応募要件	募集人数	勤務地	業務内容	勤務条件	賃金
業務員(男性)		若干名	市民会館(富士町7丁目)	作業・管理業務	8:30～22:30の間で1日7時間勤務 ※週6日勤務	月額129,700円
業務補助員(男性)	昭和12年4月2日から昭和19年4月1日までに生まれた方	2人	岡志別の森運動公園(千歳町97)	作業・受付・監視業務	5月～10月の期間 5:30～21:30の間で1日6.5～8.5時間勤務 ※週4～5日勤務	時給730円
		2人	鶯別公民館(鶯別町3丁目)	管理業務	15:30～22:30(1日7時間勤務) ※週3～4日勤務	時給730円
業務補助員(女性)	昭和19年4月2日から昭和44年4月1日までに生まれた方	2人			8:45～15:45(1日7時間勤務) ※週3～4日勤務	時給730円



市は、個人消費の拡大と地域経済の活性化を図るため、15歳以下の子どもをもつ世帯主や老齢福祉年金などを受給している方、65歳以上で市民税が非課税の方などに地域振興券を交付します。



◆**交付額**：交付対象者1人につき2万円  
(15歳以下の子どもをもつ世帯主については、子ども1人につき2万円)

◆**有効期間**：3月13日(土)～9月12日(日)【6カ月間】

●生活保護を受けている方、社会福祉施設に入所している方など  
 ③65歳以上で、常に介護を必要とし、平成10年度の市民税所得割が非課税の方(ただし、平成10年9月30日以前から、病院や老人福祉施設に入院、入所している方を除きます。また、本人が扶養されている場合は、扶養者の市民税の所得割が非課税の場合に限ります)  
 ④65歳以上で、平成10年度分の市民税が非課税の方(ただし、本人が扶養されている場合は、扶養者

①15歳以下の子どもをもつ世帯主  
 ②老齢福祉年金などの受給者  
 ●平成11年1月分の、老齢福祉年金、障害基礎年金、遺族基礎年金、児童扶養手当、特別児童福祉手当、特別障害者手当、障害児福祉手当、福祉手当、原爆被爆者諸手当などの受給者(ただし、障害基礎年金や遺族基礎年金などの受給者の一部の方は、受給者および受給者を扶養している方の市民税の所得割と均等割がいずれも非課税の方に限りません)  
 地域振興券が交付されるのは、平成11年1月1日現在で、次の要件に該当する方です。

**交付対象者**

# 地域振興券を交付します

3月13日(土)から3月15日(月)までに郵送

の市民税の所得割と均等割がいずれも非課税の場合に限ります)

**交付申請の手続きはお済みですか？**

地域振興券が交付されるのは、上記①～④に該当し、2月上旬に市が送付した交付(確認)申請書で、すでに交付申請を済ませた方のうち、市に交付対象と認められた方です。交付申請の手続きを済ませていない方は、早めに地域振興室へ交付(確認)申請書を郵送するか、または直接、交付(確認)申請書と印鑑、本人確認のための

身分証明書を持参してください。(受付時間は土・日曜日、祝日を除く9時から17時30分まで)

**地域振興券の交付方法**

3月13日(土)から15日(月)までに郵送(配達記録郵便)で交付します。  
 【不在の場合は、登別温泉・登別駅前・登別郵便局のいずれかで1週間保管され、その後は地域振興室で保管します】

**地域振興券受領前に転出するときは？**

地域振興券を受け取る前(3月

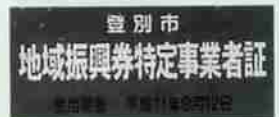
地域振興券に関する  
 問い合わせ  
**地域振興室**  
 (☎85 2753)

**地域振興券の使い方**

12日(金)以前)に登別市から他の市町村へ転出する場合は、転出の届け出を行う市民課または各支所で「地域振興券未受領証明書」を交付しますので、転出先の地域振興券担当窓口で手続きしてください。

- 地域振興券の額面は1枚1千円で、1組20枚つづりです
- お釣りは支払われません
- 換金することはできません
- 地域振興券を使用できる人は、交付対象者本人またはその代理人、使者に限ります
- 地域振興券の交換、譲渡、売買はできません
- 地域振興券を使用できる期間は平成11年3月13日(土)から9月12日(日)までの6カ月間です(9月13日(月)以降は使用できませんので、ご注意ください)

地域振興券はこのポスターやステッカーのあるお店で使えます



登別市  
 地域振興券  
 取扱店

**地域振興券を使用できるのは？**

登別市内にある店舗や事業所で、物品の購入やサービスの対価の支払いに使用できます。(地域振興券を使用できる店舗などには、ポスターやステッカーを掲示します)

- 使用例**
- 食料品や衣料品、おもちゃなど小売店で売っている商品の支払い
  - レストランや飲食店などの支払い
  - 医療費、クリーニング、理容・美容店の支払い
  - 旅館・ホテルの宿泊料金の支払い

**地域振興券を使用できないのは？**

公共料金(水道料金など)、税金、債務、電気・電話料金、NHK受信料、公営ギャンブル、宝くじ、有価証券、商品券、ビール券、図書券、プリペイドカード(テレホンカード、ハイウェイカード)、切手、官製はがき、交通機関の定期券など

**特定事業者の登録申請**

地域振興券を取り扱う「特定事業者」の登録申請は、2月26日(金)で終了しました。2月27日(土)以降、登別市内で新たに開業した事業者など、特別な事情により登録申請をしていない事業者で地域振興券の取り扱いを希望する場合は、お問い合わせください。

▶特定事業者登録に関する問い合わせ  
 商工労政課 (☎85 2171)



▶オロフレ雪原宝探し



## このまちが 好き

「冬」来たりなば  
「温泉」遠からじ

積雪寒冷の地である北海道に住む私たちにとって、冬とはどんな季節でしょうか。

凍える手をさすり、暖かな春を待つ、暗く冷たい季節でしょうか。

雪の恐ろしさを知り、そして楽しむことを知っている私たちにとって、冬はつらいだけの季節ではありません。

パウダースノーの上をスキーやスノーボードで滑るのもよし。優れた効能を持つ温泉で、身も心も温まるのもよし。

もしかすると冬は、一年の中で大自然を一番満喫できる季節なのかもしれません。

3月7日(日)は、春が訪れる前に、もう一度冬を思いっきり楽しんでみませんか。

◎第35回カルルス温泉スキーまつり

▼月日 3月7日(日)

▼時間 9時30分!

▼場所 国設カルルス温泉サンライバスキー場

▼内容 無料スキー講習会、チューブレース大会、雪上もちまき、オロフレ雪原宝探しなど

▼問い合わせ 登別観光協会

(☎0133311)

となりまち

# ホットライン

## 室蘭市

太鼓の音色が響く!

ジュニア太鼓フェス'99室蘭にお越しを

室蘭を含む胆振・日高管内の小中学生を中心とした和太鼓チームが、太鼓の音色を響かせます。

▼日時 3月28日(日) 開演14時

▼場所 室蘭市文化センター(室蘭市幸町6-23)

▼内容 第一部:各団体の発表、第二部:参加団体による「四季打ち」と「山彦」の合同演奏

※入場料として大人500円を予定していますが、金額が変更になる場合があります。

▼問い合わせ 室蘭太鼓連盟・柳引さん

(☎072000)

## 伊達市

春一番伊達ハーフマラソン参加者募集中

▼日時 4月18日(日) 受付9時30分、スタート11時

▼場所 だて歴史の杜駐車場発着

▼種目 3.0km(小中学生のみ)、5.0km(高校生男子を除く)、10.0km(車いすの部あり)、ハーフ(2時間半以内で完走できる方)の4コース

▼参加料 小中学生1千円、高校生・一般・車いす2千円、ハーフ3千円

▼申込方法 3月19日(金)までに郵便振替で参加料を入金してください。これを参加申込とします

▼振込先 口座番号:02750000-37336、加入者名:春の合宿村まつり実行委員会事務局、通信欄記入事項:氏名、住所、性別、年齢、種目、所属団体、学校名

▼問い合わせ 伊達市教育委員会体育振興課

(☎0142233331)

この広報紙は再生紙を使用しています。

◆人のうごき 人口56,253(-31) 世帯23,222(+6) 平成11年1月末日現在 ( )は前月比

発行・編集 登別市総務部企画広報室(広報広聴) ☎059-8701 北海道登別市中央町6-11 ☎0143(☎)2111 FAX 0143(☎)1108